



2026年5月25日

各位

会社名 伯東株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 宮下 環
(コード：7433、東証プライム市場)
問合せ先 取締役執行役員
財務部長 海老原 憲
(TEL 03-3225-8949)

(訂正)「2026年3月期 決算補足説明資料」の一部訂正について

2026年5月12日に発表いたしました「2026年3月期 決算補足説明資料」の記載内容に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正の理由

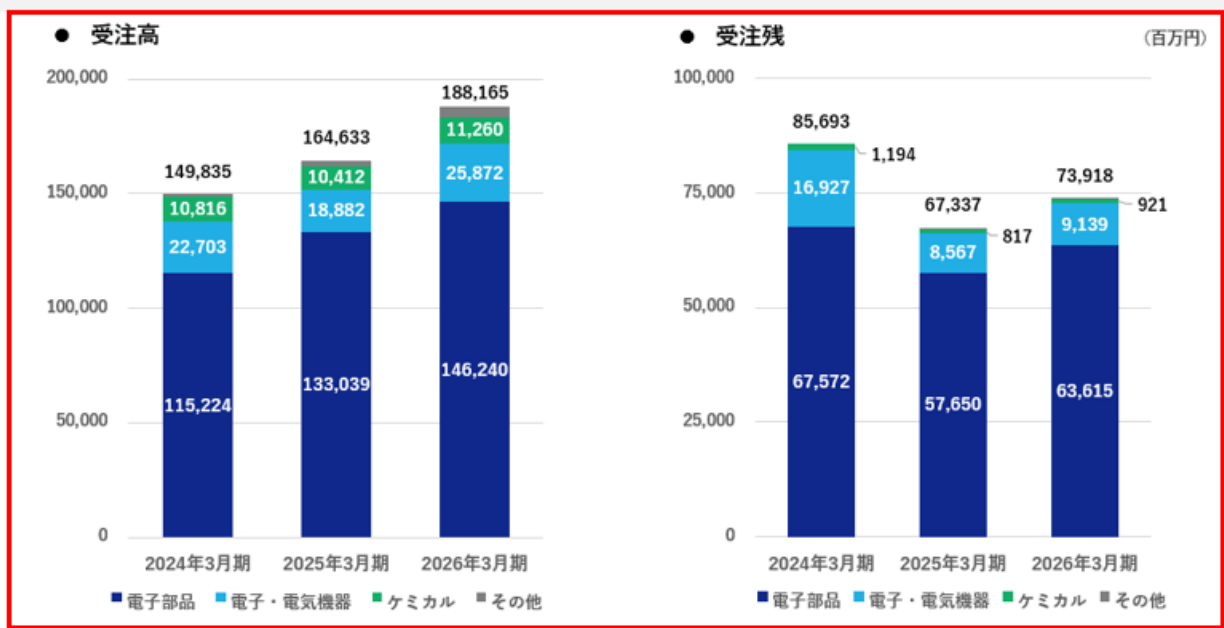
2026年5月12日に開示いたしました「2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」における数値の一部訂正に伴うものおよび決算確定に向けた精査の過程で、一部の記載内容に誤りがあることが判明しましたので、これを訂正するものであります。

2. 訂正の内容

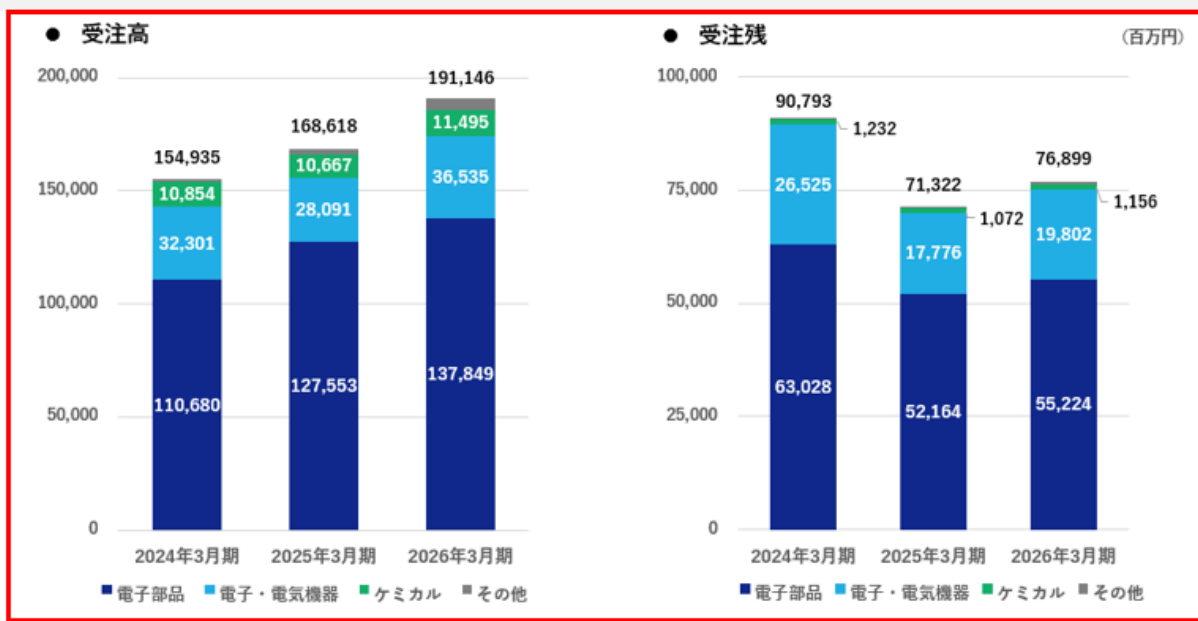
<訂正箇所>

- 6ページ 「連結受注高・受注残の推移」グラフ内数値
- 8ページ 「連結貸借対照表」コメントおよび表内の2026年3月期数値及び増減額
- 9ページ 「キャッシュ・フロー計算書」コメント

グラフについては赤枠囲み、それ以外の訂正箇所には下線を付して表示しております。



【訂正後】





連結貸借対照表

- 連結子会社 2 社の取得(みなし取得日：2026年 3 月31日)に伴い、総資産は346億円の増加
- 仕入債務と有利子負債の増加等により、総負債は305億円の増加
- 為替換算調整勘定と非支配株主持分の増加等により、純資産は41億円の増加

(百万円)	2025年3月期	2026年 3 月期	増減額	
総資産	130,376	<u>164,968</u>	<u>+34,592</u>	
現預金	14,929	18,957	+4,028	・ 連結CF参照
売上債権	45,795	<u>56,882</u>	<u>+11,087</u>	
棚卸資産	44,484	46,311	+1,827	・ 連結子会社の取得に伴う増加
のれん	3,028	16,063	+13,035	
投資有価証券	8,333	<u>8,395</u>	<u>+62</u>	・ 保有株式の株価上昇による増加
総負債	64,829	<u>95,297</u>	<u>+30,468</u>	
仕入債務	17,571	<u>23,182</u>	<u>+5,611</u>	
有利子負債	35,282	58,031	+22,749	・ 短期、長期借入金の増加
純資産	65,546	<u>69,670</u>	<u>+4,124</u>	・ 為替変動による為替換算調整勘定の増加 ・ 連結子会社の取得に伴う非支配株主持分の計上
自己資本比率	50.3%	<u>41.4%</u>	-	

【訂正後】



連結貸借対照表

- 連結子会社 2 社の取得(みなし取得日：2026年 3 月31日)に伴い、総資産は341億円の増加
- 仕入債務と有利子負債の増加等により、総負債は298億円の増加
- 為替換算調整勘定と非支配株主持分の増加等により、純資産は43億円の増加

(百万円)	2025年3月期	2026年 3 月期	増減額	
総資産	130,376	<u>164,484</u>	<u>+34,108</u>	
現預金	14,929	18,957	+4,028	・ 連結CF参照
売上債権	45,795	<u>56,868</u>	<u>+11,073</u>	
棚卸資産	44,484	46,311	+1,827	・ 連結子会社の取得に伴う増加
のれん	3,028	16,063	+13,035	
投資有価証券	8,333	<u>8,557</u>	<u>+224</u>	・ 保有株式の株価上昇による増加
総負債	64,829	<u>94,651</u>	<u>+29,822</u>	
仕入債務	17,571	<u>22,551</u>	<u>+4,980</u>	
有利子負債	35,282	58,031	+22,749	・ 短期、長期借入金の増加
純資産	65,546	<u>69,833</u>	<u>+4,287</u>	・ 為替変動による為替換算調整勘定の増加 ・ 連結子会社の取得に伴う非支配株主持分の計上
自己資本比率	50.3%	<u>41.6%</u>	-	

【訂正前】

キャッシュ・フロー計算書



- 棚卸資産(新規連結子会社分は含まず)の減少等により、営業キャッシュ・フローは102億円の収入
- 子会社株式の取得等により、投資キャッシュ・フローは173億円の支出
- 短期、長期借入れにより、財務キャッシュ・フローは100億円の収入

【訂正後】

キャッシュ・フロー計算書



- 棚卸資産(新規連結子会社分は含まず)の減少等により、営業キャッシュ・フローは102億円の収入
- 子会社株式の取得等により、投資キャッシュ・フローは175億円の支出
- 短期、長期借入れにより、財務キャッシュ・フローは100億円の収入



2026年3月期決算

伯東株式会社

2026年5月12日

連結業績概要

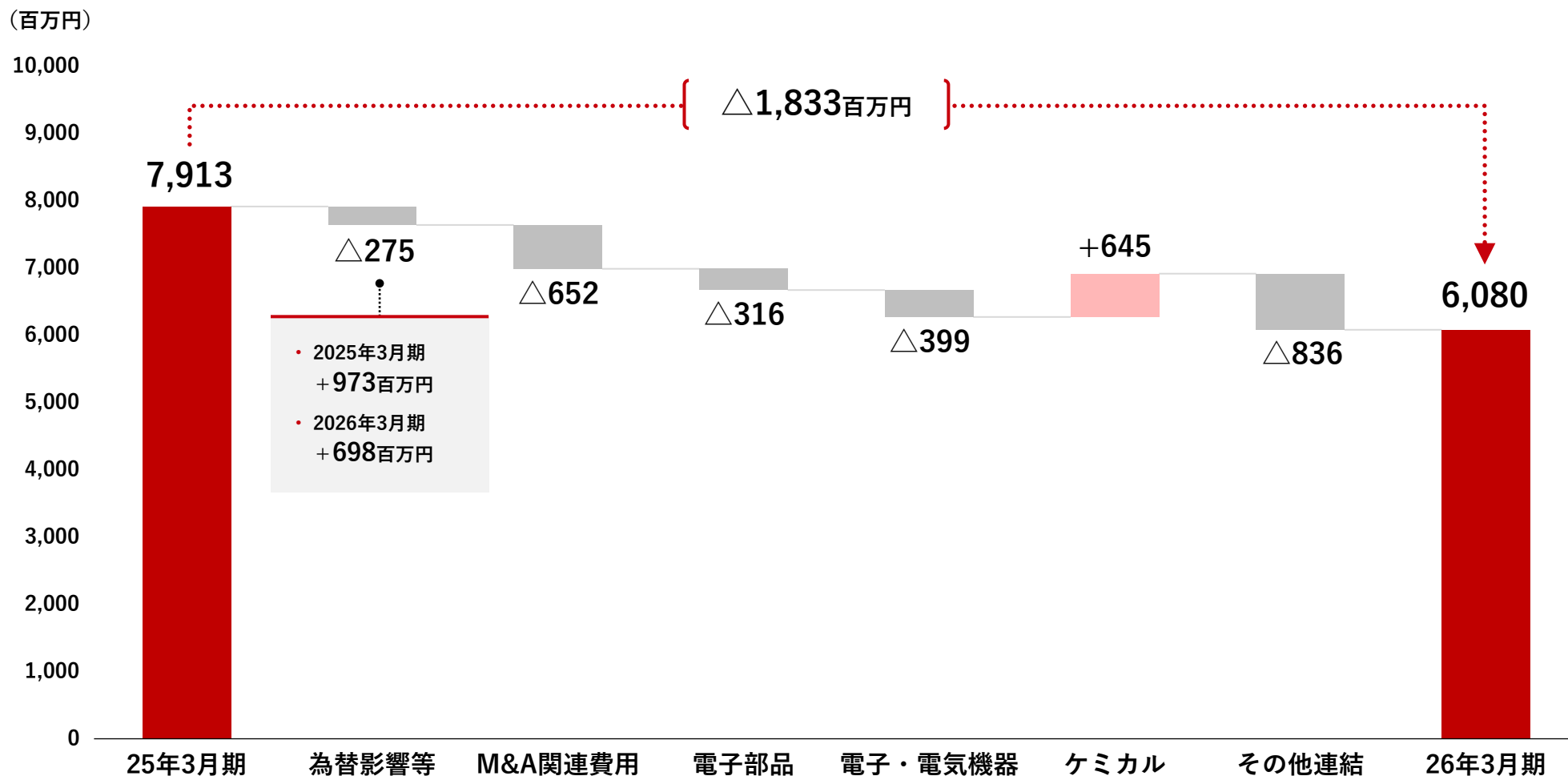
- 車載向け半導体デバイスやパワーデバイス向け装置の販売減少等により売上高は微減も、売上総利益は微増。新規事業やM & A 関連の費用発生等による販管費の増加により営業利益と経常利益は減益となるが、政策保有株式の売却により当期純利益及びEPSは前期実績並みを確保

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	183,133	181,178	△ 1,954	△1.1%	・ 車載向け半導体デバイス、パワーデバイス向け装置の販売減少等
売上総利益	27,878	28,080	+202	+0.7%	・ 売上総利益率は前年同期より改善 前期 15.2% ⇒ 当期 15.5%
営業利益	7,913	6,080	△ 1,832	△23.2%	・ 新規事業やM&A関連の費用発生等による販管費の増加： 前期 200億円 ⇒ 当期 220億円
経常利益	7,321	5,579	△ 1,742	△23.8%	・ 借入金の増加による支払利息の増加： 前期 3.2億円 ⇒ 当期 4.3億円
当期純利益	5,131	5,009	△ 121	△2.4%	・ 政策保有株式の売却により投資有価証券売却益22億円を計上
EPS [※]	272.76	266.14	△ 6.62	—	

※ EPS：1株当たり当期純利益

連結営業利益の増減要因（対前年同期比）

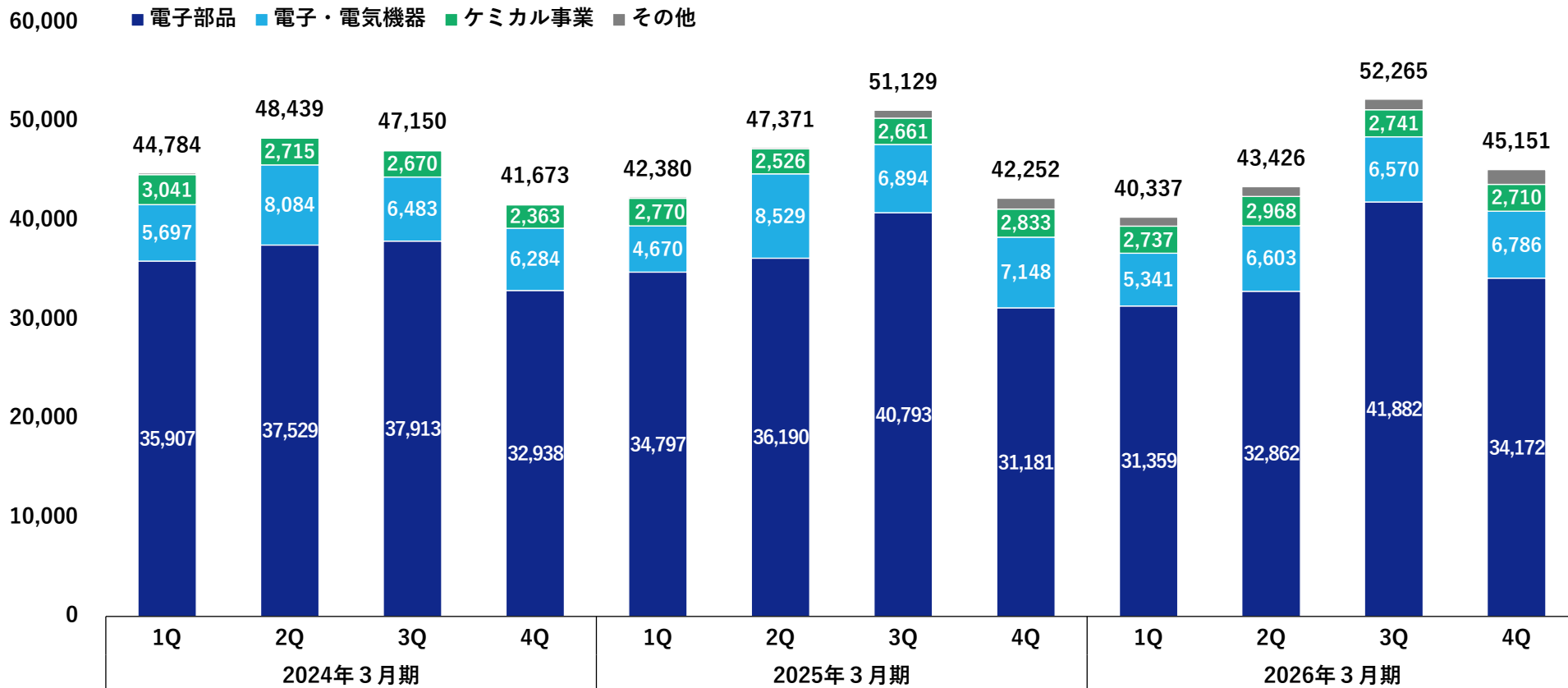
- 25年3月期は為替変動(円安)により9.7億円、26年3月期は7億円の利益押し上げ要因
- 電子部品と電子・電気機器は減益、ケミカルは石油・石化と化粧品基剤が堅調に推移し増益
- M&A関連費用として6.5億円を計上、その他はのれん償却費や新規事業関連費用等により減益



連結売上高の四半期推移

- 電子部品：25/3期3Qと26/3期3Qの売上増加は車載向け半導体デバイスのまとめ販売によるもの、光部品は5G投資等を背景に伸長
- 電子・電気機器：PCB関連やパワーデバイス関連機器は前年度に比べて売上減少も、真空関連における半導体工場向け環境測定装置及び理化学向け分析装置の販売は堅調に推移
- ケミカル：石油・石化分野は国内向けの販売が堅調推移、海外向け化粧品基剤の販売は回復

(百万円)



セグメント別業績

- 電子部品は在庫調整、為替影響、M & A 関連費用等、電子・電気機器は設備投資抑制により減収・減益
- ケミカルは海外向け化粧品基剤の販売回復により増収・利益計上
- その他は新規連結子会社の加入により増収も、のれん償却費や新規事業関連費用等により損失計上

(百万円)		2025年3月期	2026年3月期	前年同期比	
				増減額	増減率
電子部品	売上高	142,961	140,274	△ 2,686	△1.9%
	セグメント利益	5,239	3,933	△ 1,306	△24.9%
電子・電気機器	売上高	27,241	25,300	△ 1,941	△7.1%
	セグメント利益	2,498	2,083	△ 414	△16.6%
ケミカル	売上高	10,789	11,156	+367	+3.4%
	セグメント利益	△ 9	625	+634	-
その他	売上高	2,560	4,853	+2,292	+89.5%
	セグメント利益	131	△ 705	△ 836	-
合計	売上高	183,553	181,585	△ 1,968	△1.1%
	セグメント利益	7,859	5,936	△ 1,922	△24.5%

電子部品

- ・ 車載向け半導体デバイスの売上減少、為替影響、M&A 関連費用等の発生により、減収・減益

電子・電気機器

- ・ 顧客の設備投資抑制により PCB 関連やパワーデバイス 関連機器の売上が減少し、減収・減益

ケミカル

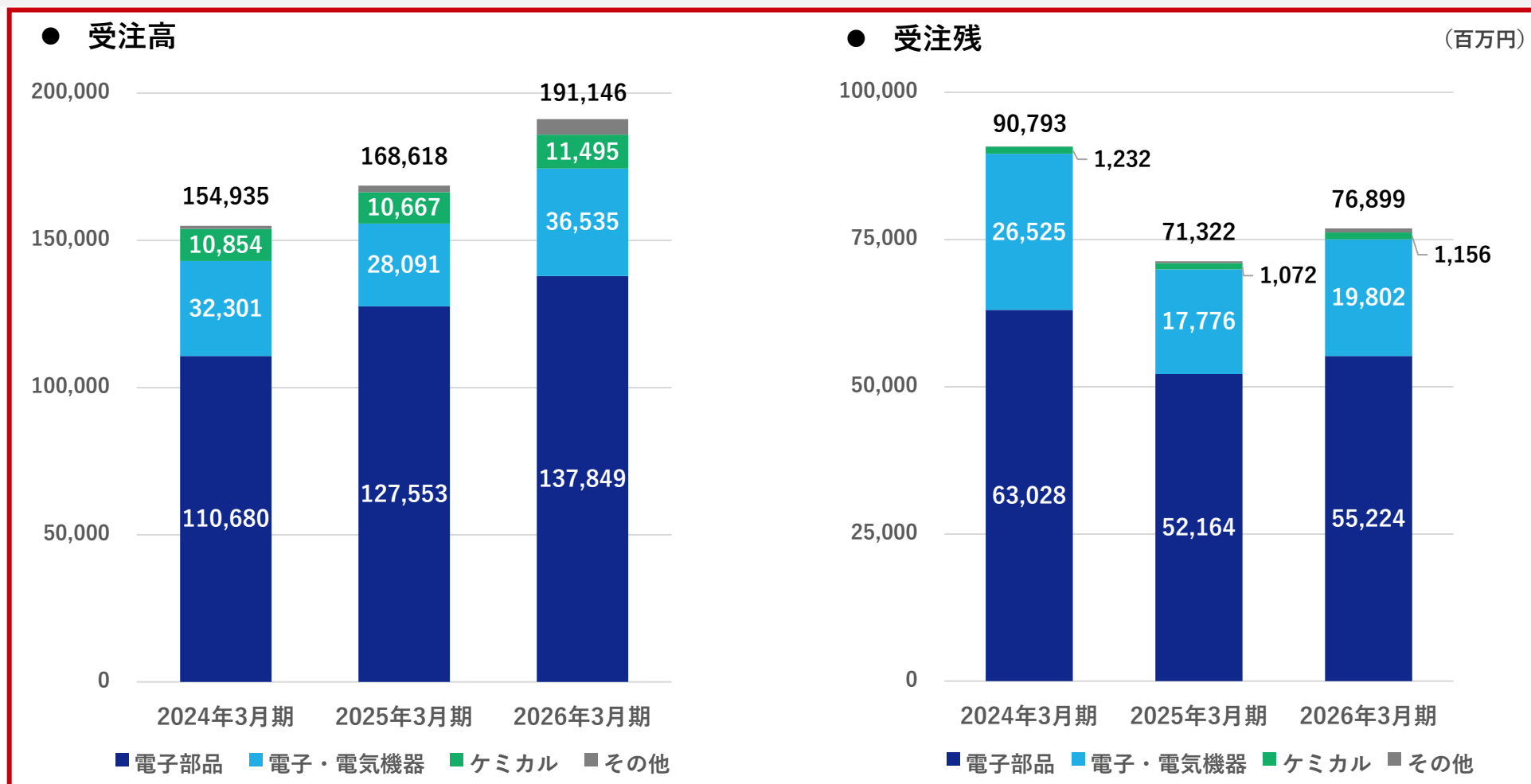
- ・ 石油・石化分野は国内向けが堅調推移、海外向け化粧品基剤も販売回復により、増収・利益計上

2026年3月期より、工業薬品事業はケミカル事業に名称を変更

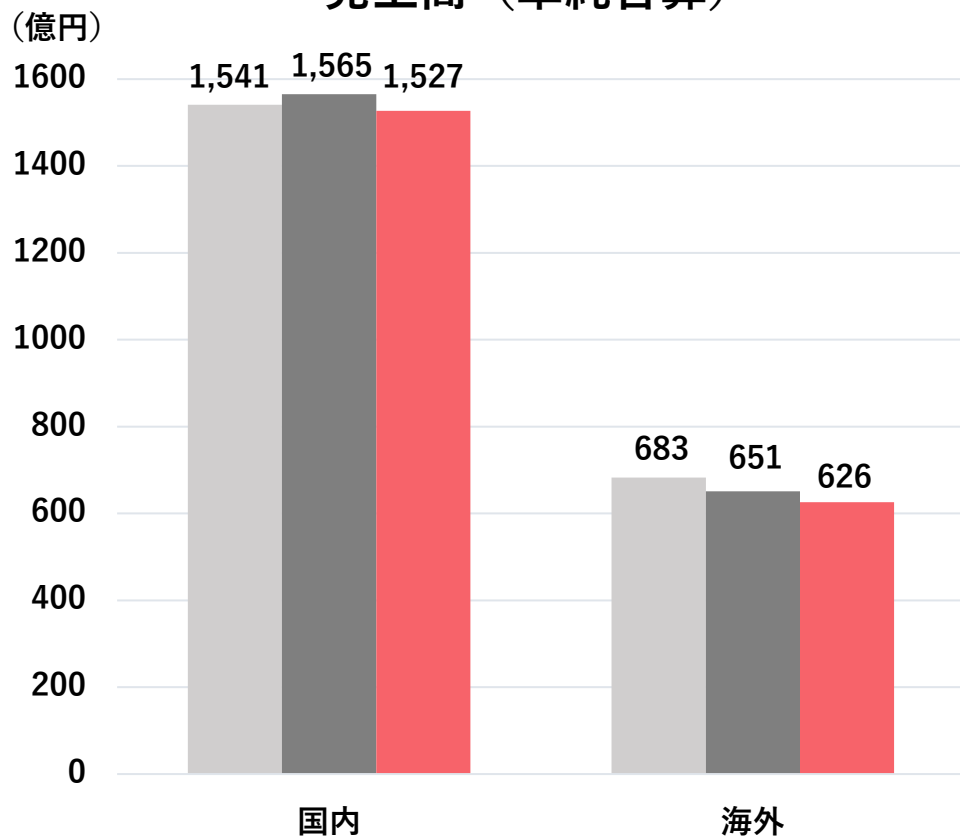
※売上高はセグメント間内部取引消去前（同一セグメント内取引は相殺済）の金額

連結受注高・受注残の推移

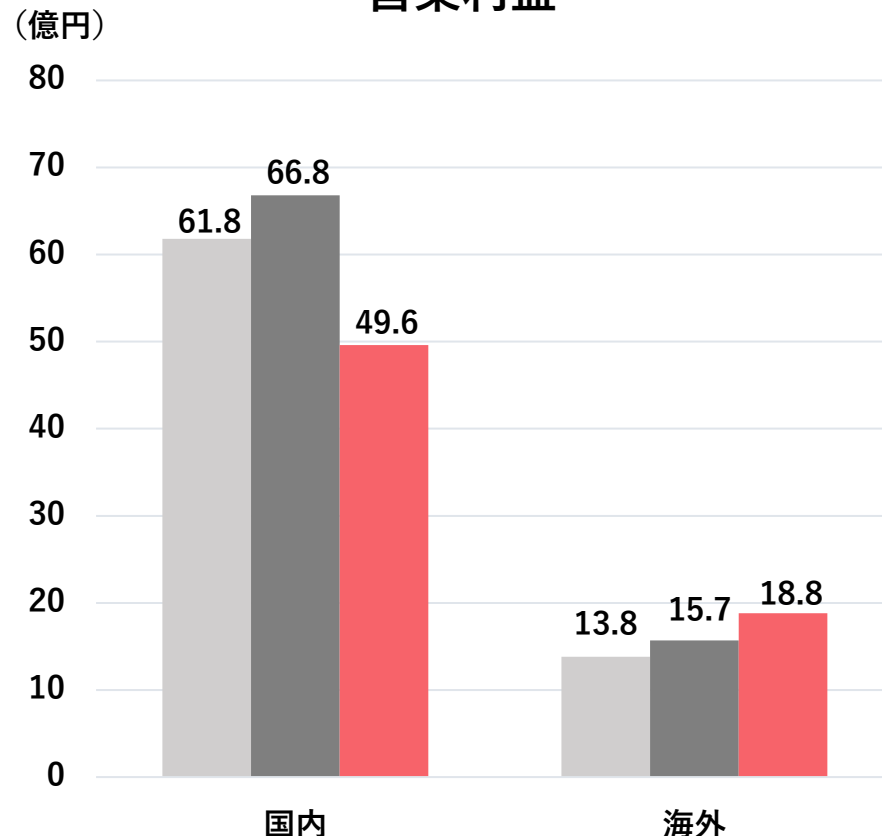
- 電子部品事業は、AI需要によるメモリー不足や次世代高速通信向け投資を背景に拡大傾向
- 電子・電気機器事業は、AI半導体向け先端パッケージ用の装置需要が拡大し、受注高が大幅増
- 2026年3月期の新規連結子会社の受注高・受注残は含まず



売上高（単純合算）



営業利益



国内（伯東+連結子会社3社）

伯東、モルデック、HAL、クリアライズ

海外（連結子会社9社）：

伯東香港、上海、台湾、シンガポール、タイランド、他4社

■ 24/3期実績 ■ 25/3期実績 ■ 26/3期実績

連結貸借対照表

- 連結子会社2社の取得(みなし取得日：2026年3月31日)に伴い、総資産は341億円の増加
- 仕入債務と有利子負債の増加等により、総負債は298億円の増加
- 為替換算調整勘定と非支配株主持分の増加等により、純資産は43億円の増加

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減額	
総資産	130,376	<u>164,484</u>	<u>+34,108</u>	
現預金	14,929	18,957	+4,028	・ 連結CF参照
売上債権	45,795	<u>56,868</u>	<u>+11,073</u>	
棚卸資産	44,484	46,311	+1,827	・ 連結子会社の取得に伴う増加
のれん	3,028	16,063	+13,035	
投資有価証券	8,333	<u>8,557</u>	<u>+224</u>	・ 保有株式の株価上昇による増加
総負債	64,829	<u>94,651</u>	<u>+29,822</u>	
仕入債務	17,571	<u>22,551</u>	<u>+4,980</u>	
有利子負債	35,282	58,031	+22,749	・ 短期、長期借入金の増加
純資産	65,546	<u>69,833</u>	<u>+4,287</u>	・ 為替変動による為替換算調整勘定の増加 ・ 連結子会社の取得に伴う非支配株主持分の計上
自己資本比率	50.3%	<u>41.6%</u>	—	

キャッシュ・フロー計算書

- 棚卸資産(新規連結子会社分は含まず)の減少等により、営業キャッシュ・フローは102億円の収入
- 子会社株式の取得等により、投資キャッシュ・フローは175億円の支出
- 短期、長期借入れにより、財務キャッシュ・フローは100億円の収入

(百万円)	2025年3月期	2026年3月期	増減額	
営業キャッシュ・フロー	10,589	10,273	△ 316	<ul style="list-style-type: none"> ・ 税前利益+78億円、売上債権の増加△3億円、棚卸資産の減少+31億円、仕入債務の増加+5億円
投資キャッシュ・フロー	△ 4,568	△ 17,533	△ 12,965	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投資有価証券の売却+24億円、有形・無形固定資産の取得△12億円、子会社株式の取得△179億円
財務キャッシュ・フロー	△ 6,507	10,017	+16,524	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短期借入金の増加(純額)+70億円、長期借入金(純額)78億円、配当金の支払△43億円
換算差額	△ 152	1,061	+1,213	
現金・現金同等物の増減額	△ 639	3,819	+4,458	
現金・現金同等物の 期末残高	14,929	18,749	+3,820	

2027年3月期 連結業績予想

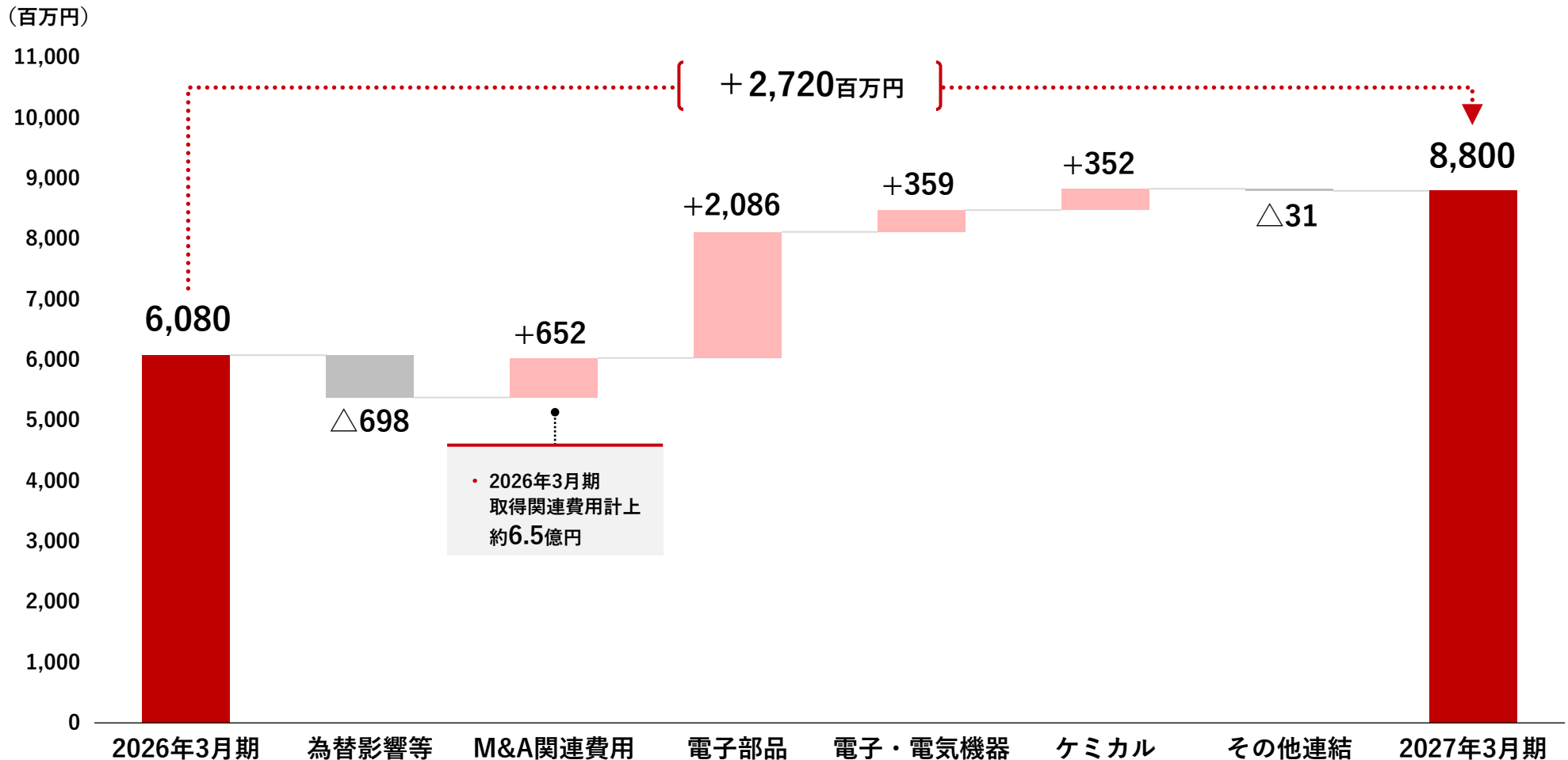
- 半導体市況の回復やAI関連の設備投資の活発化に加えて、新規連結子会社の損益寄与等により、増収・増益の見通し
- のれん償却費の増加等により販管費は22億円増加、投資有価証券売却益は15億円を見込む

(百万円)	2026年3月期	2027年3月期			前年比	
	実績	上期(予)	下期(予)	通期	増減額	増減率
売上高	181,178	110,000	115,000	225,000	+43,822	+24.2%
売上総利益	28,080	15,400	17,600	33,000	+4,920	+17.5%
営業利益	6,080	3,400	5,400	8,800	+2,720	+44.7%
経常利益	5,579	2,900	4,600	7,500	+1,921	+34.4%
当期純利益	5,009	2,300	3,400	5,700	+691	+13.8%
EPS [※]	266.14円	—	—	302.77円	36.63円	—
ROE	7.5%	—	—	8.4%	0.9pt	—

※ EPS：1株当たり当期純利益

連結営業利益の増減要因（対26/3期実績比）

- 電子部品は、半導体市況の回復と新規連結子会社の損益寄与により大幅増益を見込む
- ケミカルは、化粧品基剤を中心に堅調維持、環境・電子産業分野で事業拡大を見込む
- 2026年3月期は為替影響により7億円の利益押し上げ、M & A 関連費用6.5億円を計上



2027年3月期配当予想

- 中期経営計画(2026年3月期～2029年3月期)における配当は、配当性向70%(±5%)に加えて、DOE 5%を下限として設定、2026年3月期の期末配当は期初計画通り1株当たり100円
- 2027年3月期は1株当たり年間配当金220円(中間110円、期末110円)を見込む

			2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期 (予想)
1株当たり配当金	中間	(円)	130	100	110
	期末	(円)	130	100	110
	年間	(円)	260	200	220
配当金総額	年間	(百万円)	4,892	3,765	—
配当性向		(%)	95.3	75.1	72.7
純資産配当率 (DOE)		(%)	7.4	5.6	6.1

・ 1株当たりの期末配当金は100円、年間配当金は期初計画通り200円

・ 1株当たりの年間配当金は220円を予想



IRに関するお問い合わせ先

経営企画部  03-3225-8931

本資料にて記載されているデータ及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変化する可能性があります。従いまして、本資料は記載された目標・予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。